事業番号	09 04 03	事業改善シート（令和８年度実施事業分）	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事業名	花き振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
		実施期間	H8 ～	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・産地間競争の激化や輸入花きが増加する中で、本県特産花きの再生産を確保するため、市場販売価格が低迷した場合に生産者に価格差補てん金を交付し、経営の維持・継続を図る必要がある。
・県内花き生産量は、生産者の高齢化、他作目への転換等により、年々減少しているため、新規技術の導入により主要品目の生産力を強化するとともに、国内外の市場ニーズの高い品目の作付推進を行い、経営の安定化と県内花き生産量の維持・増加を図る必要がある。
・若年層を中心に花きの消費量は低い傾向であるため、将来的な消費者である若年層を中心に日常における花の購入・活用を促進し、花きの需要を創出する必要がある。

2 事業目的

・主要品目の生産振興、補完品目及び新品目の作付拡大により、生産者の所得向上をめざす。
・花き消費量の需要を掘り起こし、生産量の増加を図ることで、生産者の経営安定をめざす。

3 事業目的を達成するための取組

①生産者の経営安定を図るための資金造成
当初予算のとおり


2019北京国際園芸博覧会

②花きの生産力強化と花の魅力発信・日常生活への浸透の促進
・県産花きの認知度向上及び需要拡大を図るため、令和９年９月に国際園芸博覧会「GREEN×EXPO2027」へ出展。
（実施設計書作成のため債務負担行為を設定、期間：令和８～９年度、11月補正額17,864千円）
※その他の事業は当初予算のとおり

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R8年度目標値	達成状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	特産花き生産出荷資金造成事業加入団体数	団体	14	14	→	14	→	14		花き生産者の経営安定を図るため、事業に加入している団体数を目標とする。
②	一世帯当たり切り花購入金額	円	7,463	9,260	↗	8,030	↘	7,590		一世帯当たりの切り花購入額について、新型コロナウイルス感染症発生前の水準を5%上回る金額を目標とする。

5 本事業が貢献する総合５か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印が付いているものは主要目標）	単位	直近３か年の状況						目標	
				年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値	年／年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2023 (R5)	3,911	2024 (R6)	4,278	2025 (R7)	4,684 (県推計)	2027 (R9)	3,700

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額						決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	合計（予算現額）	うち一般財源		
R8年度	0	8,515	0	**0**	8,515	4,215		1.5
R7年度	0	8,515	0		8,515	4,215	8,316	1.5
R6年度	0	8,515	0		8,515	4,215	8,288	1.5

事業番号	09 04 03	**細事業一覧（令和８年度実施事業分）**	□当初要求 □当初予算案 ■補正予算案 □点検

事 業 名	**花き振興事業**	部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
1	**特産花き生産出荷安定資金造成事業**	8,100 千円	8,100 千円	予算現額 8,100 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	特産花き生産出荷安定資金造成事業	補助金	主要花き（キク、カーネーション、トルコギキョウ、リンドウ、アルストロメリア）の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金造成に対し補助 ６品目に対する資金造成 8,100千円

細事業No.	細事業名	R6年度予算現額	R7年度予算現額	R8年度予算
2	**信州花き生産力強化事業**	415 千円	415 千円	予算現額 415 うち今回補正額 0 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和８年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）
1	県主要品目の生産力強化	直接	主要品目の収量増加及び品質向上のために、産地での高温対策や病害対策技術等の実証試験を実施 実証試験：２か所
2	ニーズの高い品目・品種や新規品目の検討及び推進	直接	生産者の経営安定を図るため、市場、生産者団体等と連携したニーズの高い品目や品種の選定検討会や市場調査を実施 検討会：２回
3	「花のある暮らし」の推進	直接	・若年層への需要拡大、花文化の定着を図るため、小中学校や社会人向けの花育教室を開催 ・県産花きを県内外の消費者へＰＲするため、公共施設やイベントで花きを展示 花育教室実施：9回、公共施設等での展示：２か所
4	国内外における県産花きの認知度向上	委託	県産花きの認知度向上と需要拡大を図るため、国際園芸博覧会「GREEN×EXPO2027」への出展を通じ、県産花きをＰＲ（債務負担行為設定） 国際園芸博覧会への出展：９日